

学校法人 桑沢学園

2024年度 事業計画

I はじめに

創立者 桑澤洋子は、昭和初期から建築・室内設計・服飾等のデザインジャーナリズムの世界で活躍。その中で、1919年に建築家グロピウスによってワイマールに設立された、造形芸術の総合学校「バウハウス」の存在を知り、その影響を強く受ける。機能性や合理性を追求したデザイン活動をすすめる中で、デザインの総合的な基礎教育と専門教育の重要性を痛感した彼女は、教育機関の実現のため努力を重ね、1954年、各界気鋭の教育者、芸術家、デザイナーたちの協力を得て、当時としては画期的なデザインの専門学校「桑沢デザイン研究所」を設立した。さらに高度な造形教育を追求する場として1966年には「東京造形大学」を設立し、今日に至る。

2024年度は、学校法人桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)の4年目にあたり、引き続き、中期計画において掲げた5つの中期計画テーマに基づいた事業を展開しつつ、次期中期計画の策定も視野に入れながら各施策を実行していく。

2024年度の重点事業計画としては、次期中期計画にもつながる「社会に開かれた新教育施設」及び「森の中の美大」構想をキーワードとして、各部門において次の通り、事業を推進していく。

桑沢デザイン研究所においては、時代に呼応する教育機関として、新たな分野及び専攻の設置についての可能性の検討、2022年度に取得した新教育施設活用のための改修工事(2～3期)の検討と実施などを行っていく。

東京造形大学においては、学部教育課程の再編計画、それに連動した大学キャンパス整備計画の検討、キャンパス整備計画に伴う2号基本金組入計画の期間変更の検討などを進めていく。

法人部門においては、両設置校の施策実行の基礎となる安定的な学校法人運営のために、私学法改正に伴う寄附行為改正の認可申請および関連規程の整備、2025年度以降の資産運用方針の検討と策定、仕事環境の整備を重点項目として進めていく。

学校法人桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)の中期計画テーマ及び、上記、重点項目を軸とした中期計画テーマに基づいた主な事業計画は以下のとおりとする。

Ⅱ 中期計画テーマ

1. 【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践（＝教育研究）
2. 【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり（＝学生支援、キャリア支援）
3. 【見える化】教育成果の社会発信と知識循環（＝広報、国際交流、社会連携）
4. 【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり（＝労務）
5. 【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理（＝リスク管理）

Ⅲ 中期計画テーマに基づく主な事業計画

東京造形大学

【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践

- (1) 2026 年度以降の学部教育課程改編にあたり、部会ヒアリングや拡大教育運営会議での意見交換の結果を参考に具体的な構想案の検討を実施する。
- (2) 修士課程における新教育課程改編及び教育の質向上に関する検討を実施する。
- (3) 教務システム及び学生ポータルシステム CampusNet のバージョンアップにあわせて業務の運用を見直し、授業運営支援の強化を検討する。
- (4) 科学研究費補助金に申請した研究者へのインセンティブ制度を導入し、研究の質向上及び申請数・採択数の増加を図る。

【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり

- (1) 学生にとって相談しやすい体制として配置し、二年目に入ったスクール・コーディネーター制度の確実な定着を図る。教務課、カウンセラー、医務室、校医との連携体制を維持し、問題の早期解決、休学者・退学者の予防につなげる。
- (2) 図書館内グループ学習室の設置・運用による図書を通じた対話づくり、及び学生が利用できる電源コンセントの増設による新たな学生の居場所の創出を行っていく。
- (3) 低学年を対象としたキャリア支援を充実することにより、卒業後の進路に向けた意識付けの強化を図る。

- (4) キャリア支援室のレイアウト変更を実施し、より一層学生が利用・相談しやすい環境づくりを行う。
- (5) 新しい敷地における遊歩道のルート計画と整備についての検討を進める。

【やりがい・働きがい】 多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり

- (1) 働き方の改善活動や社会の変化や価値の多様化に即した新しい働き方のモデルを中・長期的な視点で構想し実現に向けて、桑沢ワークシフトプロジェクトを推進していく。

【万が一のそなえ】 社会変動に迅速に対応するリスク管理

- (1) 有線・無線ネットワーク環境の経年劣化による故障リスクが高い部分の置き換えを行い、インフラ環境の安定稼働および性能向上を図る。併せて、セキュリティリスク回避や性能向上のため、各種システムのサーバーのバージョンアップやリプレースを推進する。
- (2) 建物老朽化の対応として適切な修繕を行うための長期修繕計画策定に向けた調査を実施する。
- (3) 都市計画道路の敷設及び将来的な建物老朽化を踏まえた整備計画策定のためコンストラクションマネジメント契約を継続する。
- (4) 老朽化による大規模停電のリスク解消のための構内高圧電源ケーブルの更新を実施する。

専門学校桑沢デザイン研究所

【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践

- (1) 情報技術の進展を背景として、時代と呼応する柔軟な分野及び専攻の設置についての可能性を検討する。
- (2) 昼間部総合デザイン科の原点に立ち返り、既存のデザイン領域や分野の連携を促進する取り組みを行う。
- (3) 夜間部専攻デザイン科の教育課程を通して、社会人でも受講可能な職能教育を提供していく。
- (4) 夜間部附帯教育を通して、幅広い層へのデザイン教育を提供する。

【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり

- (1) 新教育施設を学生と社会をつなぐ取り組みに活用する。
- (2) 老朽化した空調設備をはじめ、適切な教育環境を維持するため、施設設備の年次計画による改修を行う。
- (3) 奨学金制度再編の検討を行う。

【見える化】教育成果の社会発信と知識循環

- (1) 開校 70 周年を迎えるにあたって、一年間を通して様々な形でイベントを開催する。
- (2) 「卒業生作品展」など、展覧会を通して教育成果の情報を発信していく。
- (3) 学外連携などを積極的に取り入れ、社会とつながる学習機会の設置についての可能性を検討する。

【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり

- (1) 前例踏襲やルーティンにとらわれない、より合理的な働き方を実施していく。
- (2) 働き方の改善活動や社会の変化や価値の多様化に即した新しい働き方のモデルを中・長期的な視点で構想し実現に向けて、桑沢ワークシフトプロジェクトを推進していく。

【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理

- (1) 18 歳人口減少に伴う経営状態の変動に備え、経営安定化に向けた支出構成比の見直しを検討する。

学校法人桑沢学園

【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり

- (1) 渋谷新教育施設の改修及び運用体制の整備を継続して行う。
- (2) 大学キャンパス整備計画に伴う 2 号基本金組入計画の期間変更の検討を行う。
- (3) 施設計画と連動した予算編成の実行と定着化を推進する。

【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり

- (1) 働き方の改善活動や社会の変化や価値の多様化に即した新しい働き方のモデルを中・長期的な視点で構想し実現に向けて、桑沢ワークシフトプロジェクトを推進していく。
- (2) 税制改正（インボイス制度・電子帳簿保存法）に対応した新たな業務フローの定着化を図るとともに、既存の経理処理関連システムの見直しと新システム導入の検討を行う。
- (3) 年末調整業務に関する Web システムの導入に向けて調査・検討及び導入を進める。

【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理

- (1) 私学法改正に伴う寄附行為改正の認可申請および関連規程の整備を行う。
- (2) 2025 年度以降の資産運用方針の検討と策定を進める。
- (3) 社会行動規範強化の仕組みづくりとして、大学・研究所で生じている各種の課題を学園内で共有すると同時に、法務課が軸となり、ルール・プロセスの整合を図るとともに、問題の発生を未然に防ぐための対策を両設置校の各関連委員会と協力して進めていく。

以上